

20平ま政第493号
平成20年（2008年）10月24日

国土交通省道路局長 様

平塚市長 大藏 律子



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（報告）

貴職にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日ごろから当市の道路事業に対しまして、多大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼がありました件につきまして、別紙のとおり報告いたします。

以 上

（事務担当はまちづくり政策部まちづくり政策課）

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

神奈川県 平塚市

道路は円滑な交通確保のみならず、地域や都市の骨格形成、ライフライン等収容空間、災害時における緊急輸送、救急医療などにとって欠くことのできない重要な社会基盤施設であり、活力ある地域づくり・都市づくりの基盤となる道路整備には強い期待が寄せられています。さらに、地球規模での環境問題への対処や、安全・安心な国土形成の実現に向けて、道路整備がより一層重要となっています。

こうしたことから、次の事項について要望いたします。

1. 本市が進める安心安全のまちづくり、少子高齢化社会への対応のため、災害時に安心して避難することができる生活道路整備、小さな子供や高齢者が安全に暮らせる歩行者環境整備、本市の平らな地形を活かした環境にやさしい交通として自転車利用を促進できる自転車利用環境整備などを推進するための支援を要望します。
2. 市域全体の交通ネットワークを形成するには、都市計画道路の整備に長期間を要し、膨大な予算を必要とすることから、短期的に効率良く、交通渋滞や交通事故を少なくするための手法として、交通ネック地点の解消を提案します。都市計画道路や高規格道路の整備に比べ、はるかに安価で整備効果の高い交通ネック地点の交差点改良など、ピンポイント整備に対する支援を要望します。
3. 道路整備財源を十分に確保し、広域道路網の整備を長期的視野に立って一層推進することを要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

神奈川県 平塚市

○現状

- ・道路網は、中心市街地から扇状に伸びる放射型で、主要幹線道路がほとんど中心市街地を通過している。
- ・道路の整備状況については、中心市街地の道路は土地区画整理事業等により整備されているが、市街地周辺部の道路整備が遅れている。
- ・広域的交通需要や近隣市町と市中心部とを結ぶ交通需要、市内に集中発生する交通需要の増大が著しく、国道 134 号の慢性的な渋滞をはじめ、朝夕のラッシュ時は、市街地周辺部での交通混雑が著しい。

○課題

- ・国道 134 号の慢性的混雑解消のため、通過交通にどう対応するかが課題。
- ・市外とつなぐ広域交通機能を担う幹線道路として、東西方向の道路の不足への対応や市内の集積機能を担う幹線道路として、中心市街地、ツインシティ、西部地域などの主要な地域をつなぐ道路の整備などが課題。
- ・局所的な渋滞箇所の交通円滑化が課題。
- ・歩行者や自転車利用者が円滑に移動できるよう安全で交通バリアのない環境づくりが課題。
- ・路線バスは平塚駅に集中していることから、ラッシュ時に遅延する場合があります、定時性確保が課題。
- ・平塚駅周辺における自動車中心の道路、駐輪場不足、自転車の路上駐輪、交通バリアフリー対策などが課題。

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

神奈川県 平塚市

１．幹線道路の整備

- ・広域幹線道路が市外と広くつながるとともに、市内の地域間をつなぐ東西、放射方向の幹線道路が整備され、市民の都市活動を快適で利便性の高いものとし、産業や業務活動が効果的に図られている。

２．公共交通の利用促進

- ・鉄道やバスなどの公共交通網の充実により、過度の自動車利用の抑制が図られ、公共交通利用が進んでいる。

３．歩行者、自転車環境の向上

- ・歩行者空間の一層の確保や自転車空間の創出により、円滑に移動ができ、安全で交通バリアのない環境づくりが図られている。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

神奈川県 平塚市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
都市交通の快適性、利便性の向上 (地球温暖化の防止)	国道 134 号の平面 4 車線化	新湘南国道（茅ヶ崎海岸 IC～大磯区間）が未完成のため、平日の朝夕の通勤時間帯のほか湘南や箱根方面等への観光が多い休日を中心に、交通渋滞が慢性化している。このため排気ガスの充満により、歩行者が海岸の松林沿いの道路を快適に歩けないといったこと、渋滞を避けるための通過車両が住宅地内に入り込み、地域住民が危険な目にあったりしていることなど、市民生活に大きな影響を与えている。これらを解消するため、国道 134 号の道路空間を再配分し、暫定的な平面 4 車線化を図ることにより、円滑な交通が実現されるとともに、生活道路への流入が防げる。さらに渋滞解消による CO2 の削減により、地球温暖化の防止に繋がる。	
地域活力の向上	湘南新道（国道 129 号～東浅間大島線）の整備促進	湘南新道は、県内を東西に結ぶ重要な幹線道路であり、圏央道開通後はそのアクセス道路として、また、相模川を横断する道路の慢性的な交通渋滞の解消など期待が大きい。特に東浅間大島線まで	

都市交通の快適性、利便性の向上	真土金目線の右折レーン設置 (平塚伊勢原線との交差点)	の延伸は、本市中心部の工場地帯と国道 129 号や圏央道とアクセスできることになり、市内の通過時間の大幅な時間の短縮となり、産業や業務活動の一層の活性化に繋がる。 本市の東西交通を支える数少ない幹線道路の交差点に右折レーンが設置されていないため、朝夕のラッシュ時には、複数回の信号待ちによる局所的な渋滞が起きている。右折レーン設置などの交差点改良により、渋滞解消が図られ、速達性が増すとともに、運転者のイライラの解消や交通事故の低減が図られる。	
都市交通の快適性、利便性の向上	平塚秦野線バスベいの設置 (片岡バス停)	交差点に隣接したバス停にバスベイが設置されていないため、バスの乗降に要する停車により、局所的な渋滞が起きている。交通安全対策、バスの定時制の確保からも課題が多い。これらのバス停にバスベイを設けることにより、バスの停車による渋滞解消が図られ、一般車の円滑な交通が確保されるとともに、停車しているバスを追い越す際の交通事故の防止にも繋がる。	